

## - 1 . アジア統合医療会議の支援業務

### International Conference on Integrative Medicine in Asia

キーワード	統合医療、アジア
Key Word	Integrative Medicine , Asia

#### 1 . 調査の目的

アジア統合医療国際会議(主催:日本統合医療学会、日本学術振興会)の事務局支援業務を行った。参加国は、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、ベトナム、インド、オーストラリア、サウジアラビア、そして日本である。開催日は、平成22年3月27日・28日の2日間。会場:東京大学駒場の小柴ホール。

同会議は、日本とアジア諸国の研究者・行政担当者が一堂に会することにより、各国の参加者による各国の統合医療の現状報告及び問題点、今後の展望について実質的な討論を行い、アジアにおける統合医療の科学的解明に焦点をあて、「アジア発の統合医療モデル」のコンセンサスと構築及び科学的根拠に関する専門家の意見交換と研究者コミュニティの形成を目指した将来展望を検討し、21世紀における世界の新しい医療への橋渡しの役割を果たすことを目的としている。

#### 2 . 調査研究成果概要

##### (1) 会議の概要

各国における統合医療及び伝統医学、相補・代替医療の社会状況(統合医療の概念や種類、範囲、国民のニーズ、政策、制度、法律、保険上の位置付け、関連産業の状況)の把握と検討を行なった。

各国における統合医療及び伝統医学、相補・代替医療の学術状況(教育、研究、研究体制の現状)の把握と検討を行なった。

各国における統合医療及び伝統医学、相補・代替医療の今後の展望(統合医療モデルの検討)を討論し、アジアから世界に発信する「アジアにおける統合医療モデル」及び「アジアにおける統合医療のグランドデザイン」の検討を行なった。



(開会あいさつ: 渥美和彦 東大名誉教授)



来賓あいさつ(鈴木寛 文部科学副大臣)

## (2) 会議の主な成果

- 2010 年度時点でのアジア諸国における統合医療と伝統医学、相補・代替医療の現状の集約することが出来た。
- 伝統医学、相補・代替医療は広くアジア諸国に普及しており、統合医療の実現に向けてアジア諸国が進んで行く事が確認された。
- 未来の保健制度は統合医療により実現される事が確認された。
- 国際協力による統合医療の促進を継続する必要が確認された。「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」を立ち上げるための設立準備委員会を開催することに対し、各国の参加者から賛同が得られた。
- 将来的には、「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」(仮称)として、アジアの統合医療の研究調査促進のためのデータベースセンター、「アジア統合医療センター (AIMC; Asian Integrative Medical Center)」を設立するためのアジア国際共同連携プロジェクトを立ち上げることにに対し、各国の参加者から賛同が得られた。
- 21 世紀における世界の新しい医療への橋渡しの役割を果たすための足掛かりが出来た。



(韓国からの講演者)



(インドからの講演者)



(質疑応答)



(会場の様子)